

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
大原スポーツ医療保育専門学校高崎校		平成23年3月17日		古堀 照久		〒 370-0846 (住所) 群馬県高崎市下和田町5丁目3番16号 (電話) 027-325-1100		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人大原学園		昭和54年4月1日		中本 每彦		〒 101-0065 (住所) 東京都千代田区西神田1丁目1番3号 (電話) 03-3292-6266		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
文化・教養	文化・教養専門課程		スポーツ学科		平成23年文部科学省告示第166号	-	平成27(2015)年度	
学科の目的	社会体育指導者、健康管理指導者、トレーナー及びスポーツビジネスに関する教育を施し、人格の陶冶を行い、もって社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	スポーツ関連資格の合格、関連技術の習得を目指す学科である。AFAA、JATI、スクーバCカード、キャンプインストラクター、MOSなど取得が可能である。また、これらの知識を活かしスポーツインストラクター、トレーナーをはじめとした希望職種での内定を目指す学科である。							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		1,700 単位時間	1,655 単位時間	1,050 単位時間	855 単位時間	0 単位時間
				- 単位	- 単位	- 単位	- 単位	- 単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率		
80 人	51 人		0 人		0 %	2 %		
就職等の状況	■卒業者数(C)		22		人			
	■就職希望者数(D)		20		人			
	■就職者数(E)		20		人			
	■地元就職者数(F)		13		人			
	■就職率(E/D)		100		%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		65.0		%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		90.9		%			
	■進学者数		0		人			
	■その他							
	アルバイト2名							
(令和7年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報)								
■主な就職先、業界等								
(令和7年度卒業生)								
(株)ファクトリージャパングループ、(株)nobitel、(株)LAVA International、(株)スポーツストーリーズ、(株)givers、L.A.整骨院、(株)グローフォースほか								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:				無			
	※有の場合、例えば以下について任意記載							
評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL				
当該学科のホームページURL	https://www.o-hara.ac.jp/senmon/school/takasaki/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定)							
	総授業時数		1,700 単位時間					
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		330 単位時間					
	うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間					
	うち必修授業時数		960 単位時間					
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		30 単位時間					
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間					
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位時間					
	(B:単位数による算定)							
	総単位数		- 単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		- 単位						
うち企業等と連携した演習の単位数		- 単位						
うち必修単位数		- 単位						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		- 単位						
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		- 単位						
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		- 単位						
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		0 人					
	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		2 人					
	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0 人					
	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0 人					
	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		1 人					
	計		3 人					
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		0 人					

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
①卒業生の主な就業先である一般事業会社(スポーツトレーナー職、営業販売職等)と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
②スポーツ分野における学修の中心となるスポーツトレーニング知識、指導能力は勿論のこと、レクリエーション能力の開発などの教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
④当学園の教育課程の編成は一部の学科を除き学園本部が統括している。そのため教育課程編成委員会も各分野ごとに各校共通の組織を設置する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
①位置づけについて
教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用していく。
②意思決定の過程について
(ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
(イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
(ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。
(エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、就職本部長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月1日			
名 前	所 属	任期	種別
中野 隆二	かなた税理士法人	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
磯貝 丈晴	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 群馬支社	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
金井 修	アクセンチュア株式会社	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
新井 良和	医療法人 社団美心会 黒沢病院	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
竹内 圭介	セントラルスポーツ株式会社 セントラルウェルネスクラブ高崎	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
金光 寛之	高崎経済大学	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
柳澤 景子	社会福祉法人岳雄会幼保連携型認定こども園エデュカレ城之内	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
野上 博治	一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
高橋 豊	高崎商工会議所 まちなか経済情報センター	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
有田 大輔	関東信越税理士会高崎支部	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
堀江 義賢	認定こども園連盟 群馬県支部	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
三井 健一	日本赤十字社 深谷赤十字病院	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
田子 昌之	公益財団法人 群馬県スポーツ協会	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
越前 一理	防衛省 自衛隊群馬地方協力本部	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)
年2回 (8月、12月)
(開催日時(実績))
第1回 令和6年8月6日 16:00～17:30
第2回 令和6年12月17日 15:30～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。 教育課程編成委員会においては、スポーツ人口の動向やオリンピック後の関心の高まり、指導者バンクの活用可能性等が示され、これらを基に地域連携や学生の社会体験機会の拡充を検討している。また、資格取得に関して「否定しない指導」や「経験が将来つながる」という視点が共有され、学生への動機づけの方法や教員の指導方針に反映している。就職面では、現場から「明るく素直な人材が求められる」との意見を受け、接客やアルバイト経験を重視するキャリア教育の充実を図っている。さらに、今後の国スポや地域イベントに関する情報も収集し、学生のボランティア参加の促進に活用している。			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 ①スポーツ分野における実習・演習は、教育社会福祉分野、工業分野等の分野と異なり、企業等との連携の下、学内で行なわれる学習科目が多いことを考慮して、実習・演習の組立を行なう。 ②企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。 ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 業界の仕組みや、授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義内容の質向上のために連携している。 ① 実習授業内容構築へのサポート ② 当該実習授業における評価ポイントの確認 ③ 授業方法に関する教員への指導 ④ 学生の学修習熟状況の評価			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ダイビング実習	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	スポーツ関連のツアーの企画、運営、商品知識について、校内での事前研修と各種スポーツの実地体験を通じて知識・技能を身に付けることを目的とする。 特に社会的にニーズの高い、スポーツについては企業と連携した外部実習を実施している。	有限会社セブンシーズ
マーケティング概論	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	商業実務分野の実務において、様々な職種に幅広く求められるマーケティングの基礎知識修得を、企業等との連携により、より実践的に修得することを目的として実習を行なう。 実習においては、エリアマーケティングを中心に学習を進めていく。	イオンリテール株式会社
水泳・水中運動Ⅰ 水泳・水中運動Ⅱ マシントレーニング実習Ⅰ マシントレーニング実習Ⅱ スタジオレッスン実習 スタジオエクササイズ 応用実習	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	スポーツクラブの運営について、校内での事前研修と実地体験を通じて知識・技能を身に付けることを目的とする。 また、プロのトレーナーやインストラクターに接することで、業界知識や職業知識を身に付ける。	セントラルスポーツ株式会社
キャンプ実習	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	キャンプインストラクター資格取得に向けた知識習得を目的とする。 またキャンプの歴史や安全、マナー、実技指導を学ぶ。	株式会社SOTOLABO

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。 ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修 ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施 ③各自治体等が実施する指導者向けセミナーへの参加 ④学内に設置される附帯教育講座を利用した自己啓発 なお、実務に関する研修、指導力の修得・向上のための研修について、さらに効果的な研修にするため、研修回数の増加や日程変更などの見直しを予定している。	
(2)研修等の実績	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： JATI-ATI 教員向け研修(新JATIテキスト対策)	連携企業等： 合同会社 Thousandedge
期間： 令和7年8月4日	対象： スポーツ職員2名
内容 学生が受験するJWI資格AFAAIGFIの座学並びに実技の知識力の向上を目的とした研修。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： 学生指導に活かす人権に配慮した教育環境づくり	連携企業等： 群馬県生活こども部生活こども課
期間： 令和6年12月18日	対象： 大原ビジネス公務員専門学校 高崎校職員全員参加
内容 LGBTQで悩んでいる学生が何に不安を感じているのか、教育現場での事例および対応方法を、講義およびワーク形式で学ぶ。	
(3)研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名： JATI-ATI 教員向け研修(新JATIテキスト対策)	連携企業等： 合同会社 Thousandedge
期間： 令和7年8月4日	対象： スポーツ職員2名
内容 学生が受験するJWI資格AFAAIGFIの座学並びに実技の知識力の向上を目的とした研修。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名： カスタマーハラスメント研修	連携企業等： 株式会社ビズアップ総研
期間： 令和7年8月8日	対象： 大原ビジネス公務員専門学校 高崎校職員参加
内容 職員の人権を守ることを目的とし、カスタマーハラスメントの背景や、教育現場での事例および対応方法を、講義およびワーク形式で学ぶ。	
4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係	
(1)学校関係者評価の基本方針 当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。評価結果については、学科長以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。	
(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。
(2)学校運営	①運営方針は定められているか。
(3)教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人
(4)学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図ら
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。
(6)教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されて
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行なわれているか。
(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。
(11)国際交流	—
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3)学校関係者評価結果の活用状況 今年度の学校関係者評価委員会にあたり、卒業生の社会適応能力について多くの意見を頂いたため、コミュニケーション能力、組織への適応について、日々の学生指導においてこれまで以上に強く意識していくことを確認した。クラスでの担任の指導はもちろんのこと、全員参加の各種学校行事やクラブ活動を通じて、社会適応能力を高める環境を積極的に提供して	

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
磯貝 丈晴	富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社 群馬支社	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
金光 寛之	高崎経済大学	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
柳澤 景子	社会福祉法人岳雄会 幼保連携型認定こども園エデュカーレ城之内	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員
市川 芳美	—	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	近隣住民
新井 良平	富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社 群馬支社	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	卒業生
大谷 優作	株式会社ファクトリージャパングループ	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	卒業生
今井 祐希	群馬県学校事務(高崎市立多胡小学校)	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
針谷 栞	社会福祉法人清流会 幼保連携型認定こども園 神流保育園	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.o-hara.ac.jp>

公表時期: 令和7年10月6日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。

②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。

③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	①学校の概要 ②目標・方針・特色 ③所在地、連絡先
(2) 各学科等の教育	①カリキュラム、時間割、目指す資格
(3) 教職員	各学科の担当教員紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	各学科の実習紹介
(5) 様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②ボランティア活動
(6) 学生の生活支援	学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声)
(7) 学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等の紹介
(8) 学校の財務	学園の財務状況公開
(9) 学校評価	学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	留学生の募集
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.o-hara.ac.jp>

公表時期: 令和7年10月6日

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 スポーツ学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ダイビング実習	事前講習、現場実技によるスクーバダイビングの習得。	1・前	30	1			○		○		○	○
2	○			一般教養Ⅰ	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。	1・通	30	1	△	○		○		○		
3	○			キャリアデザインⅠ	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ。	1・通	30	1		○		○		○		
4	○			キャリアデザインⅡ	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習。	1・後	30	1		○		○		○		
5	○			キャリアデザインⅢ	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習。	2・前	30	1	△	○		○		○		
6	○			時事	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習。	2・後	30	1	○			○		○		
7		○		簿記入門Ⅰ	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	1・前	30	1	○			○		○		
8		○		3級商業簿記基礎	株式会社における複式簿記の基本原理、簿記の基本原理を学ぶ	1・前	90	3	○			○		○		
9		○		3級簿記総合	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ	1・前	120	4		○		○		○		
10		○		2級商業簿記基礎Ⅱ	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ	1・前	90	3	○			○		○		
11		○		2級工業簿記基礎Ⅱ	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	1・前	90	3	○			○		○		
12		○		2級商業簿記応用Ⅰ	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ	1・前	30	1	○			○		○		

13		○	2級工業簿記 応用Ⅰ	工業簿記および原価計算の関係および会計 処理を学ぶ	1・ 前	30	1	○				○		○		
14		○	2級簿記総合 Ⅱ	商企業および工企業の会計処理を問題演習 を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ	1・ 後	90	3		○			○		○		
15		○	2級簿記総合 Ⅲ	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題 の演習を通じて学ぶ	1・ 後	90	3		○			○		○		
16		○	Power Point 基礎	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作 を理解する	1・ 通	30	1	○	△			○		○		
17		○	ITリテラシ	ネットワーク、セキュリティの知識とコン ピュータの基本操作を学ぶ	1・ 後	90	3	△	○			○		○		
18		○	Excel基礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用 方法を習得する	1・ 後	60	2	○	△			○		○		
19		○	グループ フィットネス 理論	グループフィットネスに必要な基礎知識の定 着を図る。	1・ 前	60	4	○	△			○			○	○
20		○	グループ フィットネス 演習	グループフィットネスに必要な実技知識の定 着を図る。	1・ 前	30	2	△	○			○			○	○
21		○	グループ フィットネス 実践	グループフィットネスに必要な実技知識を実 践的に学ぶ。	1・ 前	60	4					○	○		○	○
22		○	救急法・蘇生 法	CPR（心肺蘇生法）・AEDの技術の習得・応急 手当。	1・ 前	30	1					○	○		○	○
23		○	スタジオエク ササイズ基礎 実習	グループフィットネスに必要な実技・技術の 定着を図る。	1・ 前	30	1					○	○		○	○
24		○	運動処方Ⅰ	指導者の基礎的な知識を学び、指導者の役 割についての理解を深める。	1・ 通	60	2	○	△			○		○		
25		○	トレーニング 実践	筋力トレーニングに必要な実技知識の定着を 図る。	1・ 通	90	3	△	○			○			○	
26		○	運動生理学	指導者の基礎的な知識を学び、指導者の役割 についての理解を深める。	1・ 後	30	1	△	○			○			○	
27		○	機能解剖とバ イオメカニク ス	指導者の基礎的な知識を学び、指導者の役割 についての理解を深める。	1・ 後	30	1	○	△			○			○	

28		○		健康スポーツ学	運動の基礎的な知識を学び対象に合わせた、体に考慮した指導がどのように実践されているのかを理解する。	1・後	60	2	○	△		○			○	
29		○		メディカルケア	トレーニングプログラム作成・指導。	1・後	30	1	△	○		○			○	
30		○		運動処方Ⅱ	安全で効果的なトレーニング立案及びプログラム作成	1・後	60	2	○	△		○		○		
31		○		スポーツ心理学	指導者の基礎的な知識を学び、指導者の役割についての理解を深める。	1・後	30	1	○	△		○		○		
32		○		マシントレーニング実習	トレーニングマシンの安全、且つ効果的な使用方法を学び、器具を使用したプログラムスキルを学ぶ。	1・後	30	1				○		○		○ ○
33		○		スタジオレッスン実習	グループフィットネスに必要な実技・技術を実践的に学ぶ。	1・前	30	1				○		○		○ ○
34		○		専門コンディショニング	テーピング、ストレッチ、リラクゼーションの基礎知識・スキルを学ぶ。	1・後	30	1				○		○		○ ○
35		○		水泳・水中運動Ⅰ	水の特性を理解し、水中運動を構成する各種運動・動作を学ぶ	1・後	60	2				○		○		○ ○
36		○		キャンプ実習	事前講習、現場実技によるキャンプスキルの習得。	1・後	30	1				○		○		○ ○
37		○		スキー基礎技術論	現場実技によるスキースキルの習得。	1・後	30	1				○		○		○ ○
38		○		スノーボード基礎技術論	現場実技によるスノーボードスキルの習得。	1・後	30	1				○		○		○ ○
39		○		ビジネス教養Ⅰ	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。	1・通	30	1		○		○		○		
40		○		インターンシップ	事前研修、インターン実習、事後研修による実務経験。	1・前	30	1				○		○		○ ○
41	○			一般教養Ⅱ	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける。	2・通	30	1		○		○		○		
42	○			パソコン実習Ⅰ	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習。	2・後	30	1				○	○		○	

43	○		コミュニケーション概論	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ。	2・前	30	1		○		○		○		
44	○		ビジネスマナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する。	2・後	60	2	△	○		○		○		
45	○		卒業前特別講座	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	2・後	30	1	○			○		○		○
46		○	Word基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する。	1・通	30	1	○			○		○		
47		○	パソコン実習Ⅱ	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習。	2・後	30	1			○	○		○		
48		○	パソコン実習Ⅲ	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習。 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習。	2・後	30	1			○	○		○		
49		○	英会話入門	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する。	2・前	30	1		○		○		○		
50		○	販売知識基礎	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する。	1・通	90	3	○			○		○		
51		○	販売知識応用	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する。	1・通	90	3	○			○		○		
52		○	マーケティング概論	マーケティングの必要性と目的を学習する。	2・前	60	2	○			○		○		○
53		○	卒業研究・発表	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	2・後	60	2		○		○		○		○
54		○	FP基礎	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける	2・前	120	4	○	△		○		○		
55		○	FP応用	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける	2・前	60	2		○		○		○		
56		○	FP総合	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する	2・前	90	3		○		○		○		
57		○	パーソナルトレーナー理論	様々な対象の人に対してのトレーニング知識を高めパーソナル指導の知識を身に付ける。	2・前	30	1	○			○		○		

58		○		スポーツケア 実習	体づくりのためのケア特性を理解し、対象者 に応じた指導方法の理論と実践を学ぶ。	2・ 前	30	1				○	○			○	○
59		○		パーソナルト レーニング指 導実践	1対1のパーソナルトレーニングに必要な、ト レーニング方法、留意点など知識と指導スキ ルを学ぶ。	2・ 前	30	1				○		○		○	○
60		○		フィットネス 理論	スポーツや健康運動の指導者として必要な各 種トレーニングの方法および指導の際の注意 点や安全管理の方法等を修得する。	2・ 前	30	1	○				○			○	
61		○		スタジオエク ササイズ応用 実習	エアロビクスをはじめとした様々なエアロ ビクトレーニングの実習を通し、エアロビ クスの理論と方法を学習する。	2・ 前	30	1				○	○			○	○
62		○		スタジオエク ササイズ指導 実践	エアロビクスをはじめとした様々なスタジオ トレーニングの実践を通し、スタジオレッス ンの理論と方法を学習する。	2・ 前	30	1				○		○		○	
63		○		マシントレー ニング実習Ⅱ	トレーニングマシンの安全、且つ効果的な使 用方法を学び、器具を使用したプログラムス キルを学ぶ。	2・ 前	30	1				○		○		○	○
64		○		スポーツ運動 学	問題演習を通じ、解剖学・生理学・栄養学・ 心理学を学ぶ。	2・ 前	30	1	○				○			○	○
65		○		スポーツキャ リアデザイン Ⅰ	スポーツトレーナーやスポーツクラブインス トラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ 向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について 学ぶ。	1・ 通	30	1	○				○		○		
66		○		スポーツキャ リアデザイン Ⅱ	スポーツトレーナーやスポーツクラブインス トラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ 向けた職種研究方法について学ぶ。	1・ 通	30	1	○				○		○		
67		○		水泳・水中運 動Ⅱ	水中運動の指導者としての役割を歯科医師、 指導法を学ぶ	2・ 前	30	1				○		○		○	○
68		○		健康管理概論	健康と健康づくりの概念と歴史、わが国の疾 病状況および高齢化の現状を知る	2・ 前	30	1	○				○			○	○
69		○		ジョグ& ウォーク	エンデュランストレーニングプログラムの立 案と作成を学ぶ	2・ 前	30	1	△				○	○		○	○
70		○		健康運動実践 指導者総合Ⅰ	健康づくりの為の運動を行う際に、安全かつ 正しい体の動かし方を指導する知識・スキル を身につける。	2・ 後	150	5	○				○		○		
71		○		健康運動実践 指導者総合Ⅱ	健康づくりの為の運動を行う際に、安全かつ 正しい体の動かし方を指導する知識・スキル を身につける。	2・ 後	90	3	○				○		○		
72		○		パーソナルト レーナー実習	様々な対象の人に対してのトレーニングを実 践的に学ぶ。	2・ 前	60	2				○	○			○	○

73		○		フィットネス 実習	健康づくり、体力づくりのための様々な運動を経験し、身体運動の効果を体験し実技指導を行う。	2・前	60	2			○	○			○	○
74		○		ビジネス教養Ⅱ	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う。	2・通	30	1		○		○		○		
合計				74 科目				3570 単位時間								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業の認定は、修業年限（2年）以上在学して、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ下記に定めるところにより授業科目および単 卒業要件： 位数の修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。 スポーツ学科 1,700時間		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験又は再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。 学業成績の判定は、秀（90点以上）、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）、不可（59点以下）の5種をもって表す。また、授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりG P（Grade-Point）を与える。		1 学期の授業期間	20 週

- (留意事項)
- 1

一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2

企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。